

2022年度 第4回 理事会議事録

1. 日時 2023年3月10日(火) 17時00分～ 18時26分

2. 場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 第4会議室
会場集合およびリモート(Microsoft Teams 使用)による併用会議
一堂に会するのと同等に意見表明ができることを確認した。

3. 出席者 <理事・監事>

出席

藤田直志(会長)、具志堅幸司(副会長)、竹内輝明(副会長)、長谷川洋子(副会長)、
荒木達雄(副会長)、山本宜史(専務理事)、遠藤幸一(常務理事)、水鳥寿思(常務理
事)、田中光(常務理事)、竹村英明(常務理事)、後藤洋一(常務理事)、米田功(常務
理事)、岩瀬史子(常務理事)、田野邊満(常務理事)、曾我部美佳(常務理事)、萩原智
子(理事)、加藤裕之(理事)、川人亜矢子(理事)、田中理恵(理事)、八木タミー(理事)、
田坂利明(理事)、橋爪みすず(理事)、高橋史安(監事)、小河原慶太(監事)

理事 22名・監事 2名

欠席

なし

0名

<関係者>

出席

守永直人(事務局長)、野村直史(総務部長)、渡邊榮(アドバイザー)、谷田信太郎
(事務局員)、佐久間裕司(コーチ育成委員会委員長)、丸山章子(女子トランポリン強化
本部本部長)

6名

4. 議題

- 審議事項 1 2022年度・第2回評議員会開催に関する事項
- 審議事項 2 2023年度大学生強化選手(U21)選考方法について
- 審議事項 3 第19期フェアリージャパン POLAについて
- 審議事項 4 強化部員の追加について
- 審議事項 5 WC大会出場について(案) パライオファリオ大会/ソフィア大会
- 審議事項 6 世界新体操選手権大会、
アジアシニア新体操選手権大会出場について(案)
- 審議事項 7 第33回パリオリンピックトランポリン日本代表選手選考方法について

- 審議事項 8 2023 年第 30 回世界年齢別大会日本代表選考方法について
- 審議事項 9 タンピング & ダブルミニ国際大会日本代表選考について
- 審議事項 10 2023 ジュニアナショナル強化選手認定制度について
- 審議事項 11 2023-2024 年度 大会プロモーション委員会編成 (案)
- 審議事項 12 2023-2024 年度 コーチ育成委員会委員構成
- 審議事項 13 2023-2024 年度 審判委員会候補者について
- 審議事項 14 2023-2024 年度 トランポリン委員会委員構成 (案)
- 審議事項 15 規程改定の件
- 審議事項 16 事務局職員に関する各種規程改定について
- 審議事項 17 2023 年度事業計画および収支予算について

- 報告事項 1 2023 ワールドカップ・コトブス大会について
- 報告事項 2 2023DTB チームカップ選手変更について
- 報告事項 3 WC 大会報告 コトブス大会/ドーハ大会
- 報告事項 4 第 52 回世界体操競技選手権大会の補欠について
- 報告事項 5 「臨時託児施設開設」実施報告について
- 報告事項 6 大会設営業者

- 資料報告 1 女子体操強化/2023 アジア選手権 (シニア) の選手団派遣について
- 資料報告 2 新体操強化/タルトゥグランプリ結果について
- 資料報告 3 新体操強化/2023 移動合宿について (案)
- 資料報告 4 新体操強化/2023 新体操トライアウト (案)
- 資料報告 5 新体操強化/WC、WCC 大会出場について (案) /5 大会
- 資料報告 6 新体操強化/W 杯大会出場選手について (案)
- 資料報告 7 新体操強化/世界ユニバーシティゲームズ大会審判派遣について
- 資料報告 8 第 9 回全日本タンピング・ダブルミニトランポリン競技 年齢別選手権大会
審判構成 (案)
- 資料報告 9 2022 年度トランポリン競技 1 種公認審判員認定講習会兼 2022 年度ト
ランポリン競技 1 種カテゴリー認定試験 報告
- 資料報告 10 アジア競技大会審判派遣について

5. 藤田会長ご挨拶

皆様、こんにちは。本日は、第 4 回理事会にご出席頂き、有難うございます。

年度末の理事会となりましたが、2022 年という年はコロナ感染から徐々に生活が緩和される年となりました。世界選手権をはじめ選手の活躍に会長として尊敬と感謝の念を抱かざるを得ない。

2023 年は 2024 年のパリオリンピック向かう年になります。協会のモットーとし「強烈な願望を心に抱き、だれにも負けない努力をする」というスローガンをもとに全員でパリオリンピックに向けて努力して参りたいと思います。

一方で 2023 年より体操協会は新しい体制で運営を行うこととなっています。

今まで協会を支えてくださった多くの理事の方々が定年や任期を迎え退任をされます。

こうした今まで協会を支えてくださった方々の貢献に大きな感謝を持っておりますが、同時に新しい時代に沿った体制、新しいメンバーで社会が求める組織にしていきたいと思っております。

協会運営に関しましては更に公明正大に運営していきたいと思っておりますので、皆様には引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

それでは理事会の出席者数を事務局長よりご報告いたします。

6. 議長選出

定款 38 条第 2 項の定めにより、議長は、藤田直志会長が議長に選出された。

7. 定足数確認

理事出席数は現在 18 名で、開催の定足数である過半数を超えていますので本会議は合法的に成立することをご報告申し上げます。(のちに 2 名が参加し 22 名全員が出席となる)

8. 議事録署名人

本理事会の議事録につきまして議長の私と、遠藤幸一常務理事、後藤洋一常務理事、にお願いしたいと存じますが、承認いただけますでしょうか。

《挙手なし = 異議なし》

なお高橋監事、小河原監事には署名いただくことになっております。

9. 議事

審議事項 1 2022 年度・第 2 回評議員会開催に関する事項

／発表：山本専務理事

標記、定款第 36 条にもとづき次回評議員会について下記のとおり提案致します。

1. 日 時 : 2023 年 3 月 25 日 (土) 14:00 ~ 15:30 終了予定
2. 場 所 : 会場参加またはリモート参加によるハイブリッド形式
 - ①会場参加の場合 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内
 - ②リモート参加の場合 Microsoft Teams または Zoom
3. 議 題 : [報告事項]
 - (1) 次年度予算 (案) について
 - (2) その他

審議事項 1 は、異議なしで承認された。

審議事項 2 2023 年度大学生強化選手 (U21) 選考方法について

／発表：男子体操強化本部 水鳥強化本部長

最大 12 名を下記の方法で選出する

<選考区分>

- ① ナショナル選手を除くNHK杯個人総合進出者の上位者から選出
- ② ①が8名に満たない場合、全日本個人総合予選の上位者から8名になるまで選出
- ③ 全日本学生選手権または全日本シニア選手権において基準点以上獲得した選手から選出
(基準点はナショナル選手相当の得点を全日本種目別選手権後に強化部で設定する)
- ④ 大学1～2年生の全日本学生選手権個人総合上位者から強化部推薦により選出

審議事項2は、異議なしで承認された。

審議事項3 第19期フェアリージャパン POLA について

／発表：新体操強化本部 曾我部副本部長

下記の通りCSでのトライアウトをもって第19期フェアリージャパン POLA 団体メンバーを追加しました。

| | FJP(団体) | | | 所属校 | 所属クラブ |
|---|---------|-------|-------|-----------|-------------|
| 1 | 生野風花 | イノフカ | 継続 高3 | 日ノ本学園高等学校 | 宝塚サニー新体操クラブ |
| 2 | 田口久乃 | タグチヒサ | 新規 高1 | あずさ第一高校 | 安達新体操クラブ |

※練習生であった松崎摩子は、2023年2月をもって練習生の期間を終了といたします。

審議事項3は、異議なしで承認された。

審議事項4 強化部員の追加について

／発表：新体操強化本部 曾我部副本部長

新体操強化部員を追加いたします。

<追加理由>

- ・新体操の強化・普及を進めるにあたり強化部員の人員が必須である。
- ・地域により強化格差が出ないよう地方にも強化部員を配置し、現状把握、分析を行い、強化に活かせるようにする。

| 氏名 | | 年齢 | 所属 | 出身校 |
|--------|---------|----|------------------|----------|
| 小笠原 有里 | オカサクラユリ | 39 | ヒューマンRG | 東京女子体育大学 |
| 徳増 菜苗 | トクマスナエ | 33 | Estella RG | 聖カタリナ大学 |
| 加畑 碧 | カハタヒロ | 27 | 仙台大学 | 筑波大学 |
| 森 夜梨子 | モリヨリコ | 26 | アリシエ兵庫 | 大阪樟蔭女子大学 |
| 大西 亜実 | オニシアミ | 23 | Regina/日ノ本学園高等学校 | 日本体育大学 |

審議事項4は、異議なしで承認された。

審議事項5 WC大会出場について (案) パライオファリオ大会/ソフィア大会

／発表：新体操強化本部 曾我部副本部長

<大会名>：WCソフィア大会

<開催場所>：ブルガリア/ソフィア

<開催期間>：2023年4月1日(金)～4月3日(日)

<派遣期間>：2023年3月28日(火)～4月4日(火)

<参加選手>：団体(フェアリージャパン POLA メンバー)、個人 山田愛乃(ターゲット選手)

| | 選手名 | 生まれ | 所属校・会社 | 所属クラブ |
|----|--------|------|------------|--------------|
| 団体 | 竹中七海 | 1998 | トヨタ自動車株式会社 | みなみ新体操クラブ |
| | 鈴木歩佳 | 1999 | 株式会社ミキハウス | |
| | 稲木李菜子 | 2003 | 国士舘大学 | みどり新体操クラブ |
| | 今岡里奈 | 2003 | 東京女子体育大学 | ふじしま新体操クラブ |
| | 田口久乃 | 2006 | あずさ第一高等学校 | 安達新体操クラブ |
| | 西本愛実 | 2007 | 松山市立余土中学校 | Estella RG |
| 個人 | 喜田 未来乃 | 2006 | 高松中央高校 | エンジェルRGカガワ日中 |

<参加役員>：村田由香里（強化本部長）、杉本早裕吏（団体コーチ）

皆川夏穂（個人コーチ）

山本里佳（審判員）

高橋秀典（団体トレーナー）

<年間当初予算>：有り

審議事項 5 は、異議なしで承認された。

審議事項 6 世界新体操選手権大会、アジアシニア新体操選手権大会出場について（案）

／発表：新体操強化本部 曾我部副本部長

<大会名>：世界新体操選手権大会

<開催場所>：スペイン/バレンシア

<開催期間>：2023年8月23日（水）～8月27日（日）

<派遣期間予定>：2023年8月16日（水）～8月29日（火）

<参加選手>：団体（フェアリージャパン POLA メンバー）、個人ターゲット選手 山田愛乃、喜田未来乃

<参加役員>：長谷川洋子（団長）、村田由香里（強化本部長）、
杉本早裕吏（団体コーチ）、皆川夏穂（個人コーチ）、清水劉（個人コーチ）、
山本里佳（審判員）、坂本愛子（審判員）、高橋秀典（団体トレーナー）、
椿貴浩（個人トレーナー 予定）、添乗員（未定）

<年間当初予算>：有り

※現地にて事前合宿予定

<大会名>：アジアシニア新体操選手権大会

<開催場所>：フィリピン/マニラ

<開催期間>：2023年5月31日（水）～6月3日（土）

<派遣期間予定>：2023年5月29日（月）～6月4日（日）

<参加選手>：団体（フェアリージャパン POLA メンバー）、個人ターゲット選手 山田愛乃、喜田未来乃

<参加役員>：村田由香里（強化本部長）、杉本早裕吏（団体コーチ）、
皆川夏穂（個人コーチ）、清水劉宇（個人コーチ）、
鈴木あおい（審判員）、高橋秀典（団体トレーナー）

<年間当初予算>：有り

| | 選手名 | 生まれ | 所属校・会社 | 所属クラブ |
|-------|--------|------|------------|--------------|
| 団体 | 竹中七海 | 1998 | トヨタ自動車株式会社 | みなみ新体操クラブ |
| | 鈴木歩佳 | 1999 | 株式会社 ミキハウス | |
| | 稲木 李菜子 | 2003 | 国土舘大学 | みどり新体操クラブ |
| | 今岡里奈 | 2003 | 東京女子体育大学 | ふじしま新体操クラブ |
| | 田口久乃 | 2006 | あずさ第一高等学校 | 安達新体操クラブ |
| | 西本愛実 | 2007 | 松山市立余土中学校 | Estella RG |
| | 生野 風花 | 2004 | 日ノ本学園高等学校 | 宝塚サニー新体操クラブ |
| | 中村知花 | 2005 | 奈良文化高等学校 | M2三碓新体操クラブ |
| | 林美梨香 | 2002 | 日本女子体育大学 | |
| | 個人 | 山田愛乃 | 2003 | 国土舘大学 |
| 喜田未来乃 | | 2001 | 高松中央高校 | エンジェルRGカガワ日中 |

審議事項 6 は承認・可決された。

審議事項 7 第 33 回パリオリンピックトランポリン日本代表選手選考方法について

／発表：トランポリン強化本部（女子）丸山強化本部長

【2024 パリオリンピック出場権獲得スキーム】 出場枠は全部で男女各 16 枠

【パリオリンピック出場枠獲得試合】

<1 枠目>

※2023 年第 37 回世界選手権大会にて予選 2 の結果にて決勝に進出した国に 1 枠出場権が与えられる。

<2 枠目>

※ワールドカップシリーズ対象試合（5 試合）におけるオリンピックランキング上位者に出場権が与えられる。

【日本代表選考の方針】

方針 1 目標はパリオリンピックでのメダル獲得。

方針 2 選考方法は最大の戦略である。

方針 3 日本のオリンピック出場枠を獲得した選手にアドバンテージを与える。

方針 4 オリンピックぎりぎりまで切磋琢磨し、日本のレベルを上げる（調整期間は必要）。

【パリオリンピック出場枠獲得試合日本代表選考方法】

【Road to Paris 1 】

★2023 年世界選手権バーミンガム大会(11/9-12)日本代表選手選考方法

<選考方法>

2023 年 5 月第一次選考会第 10 回全日本年齢別大会（5/13-14）

2023 年 6 月最終選考会（6/9-10）にて日本代表を決定（男女最大各 4 名+リザーブ 2 名）

【 Road to Paris 2 】

★2023-2024 年ワールドカップシリーズ派遣日本代表選手選考方法（下記 5 戦対象試合予定）

①2023 年 シリーズ第 3 戦 コインブラ大会(7/7-8) 派遣人数 男女各 4 名+リザーブ 2 名

②2023 年 シリーズ第 4 戦 パームビーチ大会(8/3-5) 派遣人数 男女各 4 名+リザーブ 2 名

③2023 年シリーズ 第 5 戦 ヴァルナ大会(10/7-8) 派遣人数 男女各 4 名

④2024 年 シリーズ第 6 戦 開催地未定、2 月実施予定 派遣人数 男女各 4 名

⑤2024年 シリーズ第7戦 開催地未定、3月実施予定 派遣人数 男女各4名

トランポリングランドチャンピオンシップ (TGC) を開催して決定する。

1. TGCは、2024年4月～5月に日本代表最終選考会として実施する。
2. 選考会は、「予選演技得点（2本の自由演技のうち、いずれか得点の高い方を採用）と決勝演技得点の合計得点で順位を決定する(決勝進出者は8名)」。
3. TGC出場資格は以下のいずれかをクリアした選手とする。
4. パリオリンピックの日本の出場枠1枠獲得の場合は優勝選手、2枠獲得の場合は優勝選手と2位の選手をパリオリンピック日本代表選手に内定する。リザーブは、次の順位の選手とする。

【アドバンテージ】

第37回世界選手権大会および2023-2024ワールドカップシリーズにてパリオリンピック出場枠獲得に貢献した選手については下記のアドバンテージを与えるものとする。

TGC以外の対象大会における最高得点（一つの対象大会における以下の①～③の得点のうち、得点の高い2つの合計得点（①予選1の2本の得点の高い方、②予選2の得点、③決勝の得点）をTGCでの得点に置き換えることが出来るものとする。

【対象大会】

- ・2023-2024ワールドカップシリーズ
- ・第60回全日本選手権大会
- ・第37回世界選手権大会
- ・2023年川崎ジャパンオープン オープンの部
- ・第11回全日本年齢別大会（※TGCが同時開催あるいはそれ以降の開催の際に限る）

TGC出場資格1. 2での出場資格獲得者はTGCが開催されない場合は、パリオリンピック日本代表選手に決定する。

遠藤：TGCの出場資格について。例えば6, 7の優勝者が同一だった場合は繰り下げるのか。

丸山：繰り下げはしません。あくまでも優勝者という考え。

遠藤：人数はどのくらいを想定しているか？

丸山：6～7人いてほしいと思っている。5の点数を2回クリアしたというところで多くの選手にチャンスを与えられると思う。

遠藤：曖昧であれば強化本部推薦というような枠を設けておけばいいのでは？

丸山：検討してみます。

審議事項7は承認・可決された。

審議事項8 2023年第30回世界年齢別大会日本代表選考方法について

／発表：トランポリン強化本部（女子）丸山強化本部長

第30回世界トランポリン競技年齢別大会

期日：2023年11月16日～19日 場所：バーミングガム（イギリス）

【11才-12才、13才-14才、15才-16才各部門】

<選考大会>

- ・第一次選考会と最終選考会の2回の選考会にて日本代表を選出する

- ・第一次選考会は第 10 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会（5 月 13 日～14 日）とする
- ・最終選考会は第 30 回世界年齢別大会日本代表最終選考会（7 月 13 日～15 日 2028 特別強化指定選手トライアウト合同開催）とする

<選考方法>

(1) 1.第一次選考会

- ①第一自由演技と第二自由演技の合計得点で順位を決定する
- ②派遣標準得点に達した上位 2 名を日本代表として内定する
- ③各部門内定者を除いた上位 6 名の選手及び、2024/2028 特別強化選手、第 29 回世界年齢別大会日本代表選手(リザーブ含む)に最終選考会への出場権を与える

(2) 2.最終選考会

第一次選考会と最終選考会で得点の高い方を有効得点とし、派遣標準得点に達した者から上位順に日本代表として内定する（選考方法 1.で内定している選手を含む最大 4 名）

審議事項 8 は承認・可決された。

審議事項 9 タンブリング&ダブルミニ国際大会日本代表選考について

／発表：トランポリン強化本部（女子）丸山強化本部長

第 37 回世界トランポリン競技選手権大会/第 30 回世界年齢別トランポリン大会（TUM/DMT）日本代表選考について TUM/DMT 強化方針に基づき原則今年の選考方法を踏襲するが、今後周知を行い計画的に得点の底上げを行う

【派遣標準得点】

| タンブリング | 男子 | 女子 | ダブルミニトランポリン | 男子 | 女子 |
|----------|------|------|-------------|------|------|
| 11-12 才※ | 39.4 | 39.2 | 11-12 才 | 44.3 | 41.9 |
| 13-14 才※ | 42.4 | 40.2 | 13-14 才 | 45.6 | 43.0 |
| 15-16 才※ | 44.4 | 41.2 | 15-16 才 | 50.0 | 44.0 |
| 17-21 才 | 44.9 | 41.7 | 17-21 才 | 50.8 | 45.8 |
| 世界選手権 | 45.4 | 42.2 | 世界選手権 | 51.0 | 47.4 |

☆上記の派遣標準得点をクリアした各部門最大 4 名の選手を日本代表に内定する

（世界選手権 / 11-12 才の部 / 13-14 才の部 / 15-16 才の部 / 17-21 才の部）

- ・ 2023 年 6 月開催の第 21 回全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技選手権大会を選考会とし、予選 1 第一パス+第二パスの合計 得点にて選考する（年齢別 11-12 才選考については同日に選考会を開催）

【男女 17-21 歳の部 選考について】

世界選手権選考会に出場し、派遣標準得点をクリアすることができなかったが、17-21 才の部において派遣標準得点をクリアした選手は 17-21 才の部日本代表選手とする

※タンブリング男女 11-12 才の部 / 13-14 才の部 / 15-16 才の部については 2 回のパス構成に最低 1 つの 2 回宙返り(2.0 以上の難度点)を組み込むこと

※上記大会が開催されない場合の選考については別途日程を決定し選考のみ行う。

審議事項 9 は承認・可決された。

審議事項 10 2023 ジュニアナショナル強化選手認定制度について

／発表：トランポリン強化本部（女子）丸山強化本部長

主旨・目的

- ①強化選手であることの誇りと自覚を持ち、技術の向上と日本においては世界のトップ選手となることを目指す
- ②スポーツの価値を高めトランポリンの魅力を発信できる選手の育成を目指す
- ③強化のサイクルを切らすことなく、合宿や国際大会などを通してナショナル強化事業にスムーズに移行できる育成システムの構築を目指す

認定方法

2023 第 30 回世界年齢別トランポリン大会 日本代表選手およびリザーブ選手（派遣標準得点をクリアした選手）を今年度のジュニアナショナル強化選手として認定する

期 限 1 年間（2023 年認定日～2024 年 3 月 31 日）

強化活動 ・ジュニア強化合宿① 8 月 11 日(金)～8 月 13 日(日) 競技力・運動能力向上を目的として
 ※合宿開催の規模に応じて人数制限有り
 ・ジュニア強化合宿② 10 月 20 日(金)～10 月 22 日(日) 世界年齢別大会の事前調整を目的として
 ※代表のみ。リザーブに関しては開催規模によって検討。

その他

- ① 強化本部内強化方針の共有
- ② 各種講習会の案内
- ③ 国際大会への候補選手とする

※認定された選手は強化活動に取り組むことを義務とします

※強化指定選手として、ふさわしくない行動や言動が見受けられたりした際は、認定を取り消す場合があります

審議事項 10 は承認・可決された。

審議事項 11 2023-2024 年度 大会プロモーション委員会編成（案）

／発表：後藤(新)委員長

| 役職 | 担当 | 氏名 | 年齢 | 出身校 | 勤務先 | 新規 継続 |
|-----|--------|-----------------------|----|------------------|------------------|----------|
| 委員長 | 全体統括 | ゴトウ ヨウイチ 後藤 洋一 | 60 | 日本体育大学 同大学院 | 明治大学 日本体育大学 他 | 新規 |
| 委員 | 体操競技 | アケナ アキコ 明名 亜希子 | 41 | 日本体育大学 | 健伸幼稚園 | 新規 |
| 委員 | 新体操 | プレスリーアスカ プレスリー 明日香 | 52 | 東京女子体育大学 | 海老名新体操クラブ | 新規 |
| 委員 | トランポリン | インダ マサト 石田 正人 | 55 | 大阪体育大学 日体大大学院 | 厚木FUSIONスポーツクラブ | 新規 |
| 委員 | バルクール | ハリヤ カズヨシ 針谷 和昌 | 66 | 慶應義塾大学 | 株式会社キュー | 新規 |

各担当の下に大会運営（本）部をおき、大会準備、運営を円滑に行なう。大会運営（本）部は、後日選出。

各種別担当は、オリンピック（TOKYO2020）や世界選手権（2019 東京 TRA、2021 北九州 AG/RG、2022 東京 PKR）で大会運営の中心的役割として関わった人物である。

審議事項 11 は承認・可決された。

審議事項 12 「2023-2024 年度 コーチ育成委員会委員構成（案）」

発表：佐久間委員長

| 役職 | 氏名 | 年齢 | 勤務先 | 出身大学 | 選考理由 |
|-----------------|--------|----|----------------|--------|--|
| 委員長 | 明名 亜希子 | 41 | 健伸スポーツクラブ | 日本体育大学 | |
| 副委員長 兼AG国内部長 | 伊藤 清良 | 42 | 国際武道大学 | 筑波大学 | 選手育成及び、講習会(対面・オンライン講義)等の経験豊富 |
| AG国内部員 | 佐藤 寿治 | 54 | 大阪体育大学 | 日本大学 | 選手育成及び講習会等の運営経験豊富、TRとのコネクション |
| 〃 | 鈴木 良太 | 45 | 仙台大学 | 仙台大学 | 男子大学強化、JSPOとのコネクション、中学部活関係情報収集担当 |
| 〃 | 木下 紘一郎 | 39 | 健伸学院・健伸スポーツクラブ | 順天堂大学 | 男子ジュニアナショナル強化、講習会担当 |
| 〃 | 新竹 優子 | 31 | 筑波大学 | 羽衣国際大学 | 女子ナショナル強化、講習会担当 |
| (新) 〃 | 小西 康仁 | 38 | 東海大学 | 順天堂大学 | 選手育成及び、講習会(対面・オンライン講義)等の経験豊富、日本体対競技・器械運動学会事務局長 |
| 役職 | 氏名 | 年齢 | 勤務先 | 出身大学 | 選考理由 |
| AG国際部員 | 大野 和邦 | 52 | 武庫川女子大学 | 日本体育大学 | 女子ジュニアナショナル強化本部長 選手育成・講習会等経験豊富 海外コーチ経験、講習会担当 |
| 〃 | 佐藤 寛明 | 33 | 日本体協協会 | 明治大学 | 男子ナショナル強化部長 海外コーチ経験、FIGとのコネクション 講習会担当 |
| 〃 (国内部より異動) | 釘宮 宗大 | 34 | 帝京大学 | 順天堂大学 | 海外コーチ経験、選手育成及び講習会担当 |

※訂正：釘宮宗大 年齢 38

今後は FIG アカデミー、JOC スポーツアカデミーについても国際部の管轄に。

| 役職 | 氏名 | 年齢 | 勤務先 | 出身大学 | 選考理由 |
|---------------|-------|----|----------------|-------------|---|
| 副委員長 兼RG部長 | 臼井千奈美 | 56 | NPO総合体操クラブ | 中京女子大学 | FIGコーチアカデミー3・JSPOコーチ4 |
| RG部員 | 小林 忍 | 48 | 埼玉県立伊奈学園総合高等学校 | 東京女子体育大学 | JSPOコーチ4、公認コーチ専門科目運営担当、経験豊富 |
| 〃 | 池上絵理香 | 40 | 舞エングェルスRG | 日本女子体育大学 | JSPOコーチ4、U-12 9ブロック研修会企画担当、経験豊富、コーチ3実技講師 |
| 〃 | 丹羽 涼子 | 44 | 名女大Jr新体操クラブ | 仙台大学大学院 | JSPOコーチ4、U-12 9ブロック選抜合宿企画運営担当、経験豊富、コーチ3実技講師 |
| 〃 | 高橋 弥生 | 36 | 桜美林学園桜美林大学 | 日本女子体育大学大学院 | JSPOコーチ4、JSPOコーチデベロッパー、全国指導者講習会担当、コーチ3講師 |
| 〃 | 湯田 愛理 | 30 | NPO総合体操クラブWing | 松本短期大学 | JSPOコーチ4、ジュニア指導経験豊富、U-12 研修会担当、コーチ3実技講師 |
| 〃 | 進藤みのり | 28 | 東京女子体育大学 | 東京女子体育大学 | JSPOコーチ3、公認コーチ専門科目運営担当 |
| 〃 | 青藤剛大 | 30 | 青森大学 | 国士舘大学大学院 | JSPOコーチ3、男子指導経験豊富 |
| (新) 〃 | 藤岡里沙乃 | 27 | Club Ravir | 東京女子体育大学 | JSPOコーチ3、コンディショニング資格取得 |

臼井俊範委員が辞退するとの事で藤岡さんにご協力いただくことになりました。

| 役職 | 氏名 | 年齢 | 勤務先 | 出身大学 | 選考理由 |
|---------------|-------|----|--------------|--------|----------------------|
| 副委員長 兼TR部長 | 福井 卓也 | 53 | 金沢学院大学 | 日本体育大学 | 継続、TR競技者育成プログラム担当 |
| TR部員 | 岸 一盛 | 58 | 小松市立高校 | 日本体育大学 | 日体協スポーツ指導者制度の知識と経験豊富 |
| 〃 | 後藤 雅美 | 49 | 名古屋市教育スポーツ協会 | 早稲田大学 | 競技検定システムを掌握、コーチ経験豊富 |
| 〃 | 稗田 道也 | 51 | 十勝TRスタジアム | 函館大学 | 北海道ブロック担当、コーチ経験豊富 |
| 〃 | 長澤 伸也 | 51 | フォルテTC | 米子工業高校 | 中国ブロック担当、コーチ経験豊富 |

審議事項 12 は承認・可決された。

審議事項 13 「2023-2024 年度 審判委員会候補者について」

／発表：後藤委員長

(公財)日本体操協会 2023-2024年度体操競技審判委員会委員候補者名簿

| | 担当 | 氏名 | 年齢 (4/1) | 所属先 | 出身学校 |
|---|------|---------|-------------|----------------|----------|
| 1 | 委員長 | 近藤昌夫(新) | 54 | 神奈川県立横浜氷取沢高等学校 | 筑波大学 |
| 2 | 副委員長 | 桜井里枝子 | 66 | 千葉県立幕張総合高等学校 | 日本体育大学 |
| 3 | 委員 | 辻哲夫 | 64 | 京都女子大学非常勤講師 | 順天堂大学大学院 |
| 4 | 委員 | 武藤真也 | 42 | ティーエスアール株式会社 | 学習院大学 |
| 5 | 委員 | 後藤豊(新) | 55 | 国際武道大学 | 筑波大学大学院 |

<選出理由>

委員長の交代により委員会活動が滞らないように No.2~4 は現委員会メンバーの継続とした。
No.5 の新規委員は旧男子審判部員であり、現在も女子を中心に指導を続け、体操競技の専門家として知識が豊富である。

(公財)日本体操協会 2023-2024年度体操競技男子審判本部員候補者名簿

| | 担当 | 氏名 | 年齢 (4/1) | 所属先 | 出身学校 |
|---|------|-----------|-------------|--------------|--------|
| 1 | 本部長 | 佐々木 彰文(新) | 42 | 藤沢翔陵高校 | 順天堂大学 |
| 2 | 副本部長 | 森 直樹(新) | 42 | 神奈川県立岸根高等学校 | 日本体育大学 |
| 3 | 副本部長 | 梅田 秀一(新) | 47 | 株式会社BULLTECH | 能代高校 |
| 4 | 本部員 | 吉田 義経 | 49 | 北海道札幌白石高等学校 | 日本大学 |
| 5 | 本部員 | 笠松 昭宏 | 45 | 笠松体操クラブ | 日本体育大学 |
| 6 | 本部員 | 伊東 貴志(新) | 42 | 立山町立雄山中学校 | 国土館大学 |
| 7 | 本部員 | 三浦 純一(新) | 41 | 広島市立美鈴が丘高校 | 広島大学 |
| 8 | 本部員 | 佐野 智樹(新) | 29 | 千葉大学 | 筑波大学 |

<選出理由>

役員改選にともなう大幅なメンバー交代により、大会の審判業務が滞ることなく実施できることを念頭に、No.2~5 は現本部員メンバーの継続とした。No.6~8 は新規のメンバーであるが、十分な審判業務実績のある方、国際体操連盟からの情報収集やその処理能力の高い方、また若手登用も念頭において選出した。

2023-2024 年度 体操競技女子審判部員候補者

| # | 役職 | 氏名 | 出身校 | 勤務先 | 年齢 | 選出理由 |
|---|------|--------|----------|--------------|----|--|
| 1 | 本部長 | 大森 智子 | 日本女子体育大学 | 千葉県立生浜高等学校 | 51 | 現本部長、国内唯一のFIG Cat.1保有し、本部長として部を統括する能力を有する。 |
| 2 | 副本部長 | 黒須 真希 | 東海大学 | 神奈川県立荏田高等学校 | 40 | 現本部長、主に高体連を担当、本部長を補佐し本部業務に活かす能力を有する。 |
| 3 | 本部長 | 阿部 恵子 | 武庫川女子大学 | (株)アール | 55 | 現本部長、国内外での審判経験を本部業務に活かす能力を有する。 |
| 4 | 本部長 | 大川 由美子 | 国士舘大学 | バレッツスポーツクラブ | 54 | 現本部長、国内での豊富な審判経験を本部業務に活かす能力を有する。若手審判の指導。 |
| 5 | 本部長 | 木村 幸代 | 日本女子体育大学 | 千葉県立小金高等学校 | 51 | 現本部長、国内での豊富な審判経験を本部業務に活かす能力を有する。若手審判の指導。 |
| 6 | 本部長 | 白川 千尋 | 北海道教育大学 | ウィルクリエイト | 45 | 現本部長、国内外での審判経験を本部業務に活かす能力を有する。 |
| 7 | 本部長 | 高橋 洋子 | 日本女子体育大学 | 日本女子大学/聖学院大学 | 38 | 現本部長、国内外での審判経験を本部業務に活かす能力を有する。 |
| 8 | 本部長 | 栗原 香菜 | 東海大学 | シコンスポーツクラブ | 37 | 現本部長、国内での豊富な審判経験を本部業務に活かす能力を有する。 |
| 9 | 本部長 | 針谷 美智子 | 立教大学 | 新潟医療福祉大学 | 33 | 現本部長、国内での豊富な審判経験を本部業務に活かす能力を有する。 |

公財)日本体操協会 2023-2024 年度体操競技女子審判部員候補者名簿

| # | 役職 | 氏名 | 出身校 | 勤務先 | 年齢 | 選出理由 |
|---|----|--------|----------|----------------|----|--|
| 1 | 部員 | 荒木 未央 | 日本体育大学 | さいたま桜高等学校 | 41 | 現部員、ジュニア選手指導経験生かし審判本部の業務を補佐する能力を有する。 |
| 2 | 部員 | 志村 美紀 | 東京女子体育大学 | 山梨県立甲府西高等学校 | 39 | 現部員、国内外での審判経験から審判本部の業務を補佐する能力を有する。 |
| 3 | 部員 | 山口 千重美 | 大阪教育大学 | 相好体操クラブ | 38 | 現部員、ジュニア選手指導経験生かし審判本部の業務を補佐する能力を有する。 |
| 4 | 部員 | 佐原 礼香 | 青森短期大学 | リベラル体操クラブ | 37 | 現部員、国内外での審判経験から審判本部の業務を補佐する能力を有する。元日本代表。 |
| 5 | 部員 | 香月 あゆみ | 東京女子体育大学 | 佐賀県立盲学校 | 36 | 現ブロック部員、ジュニア選手指導経験生かし審判本部の業務を補佐する能力を有する。 |
| 6 | 部員 | 中嶋 洋子 | 筑波大学 | 茗溪学園高校中学校 | 30 | 国内カテゴリー1を保有。若手審判員の育成。 |
| 7 | 部員 | 大澤 都 | 日本女子体育大学 | NPO法人松戸市学童保育の会 | 29 | 国内カテゴリー1を保有。若手審判員の育成。 |
| 8 | 部員 | 井上 和佳奈 | 筑波大学 | 北翔大学 | 27 | 国内カテゴリー1を保有。若手審判員の育成。元日本代表。 |

(公財)日本体操協会 2023-2024 年度新体操審判本部員候補者名簿

| | 担当 | 氏名 | 年齢 (4/1) | 所属先 | 出身学校 |
|----|------|--------|-------------|-------------|----------|
| 1 | 本部長 | 橋爪 みすず | 59 | 日本女子体育大学 | 日本女子体育大学 |
| 2 | 副本部長 | 鈴木 あおい | 50 | WmeまつもとRG | 松本城ヶ崎高校 |
| 3 | 副本部長 | 坂本 愛子 | 48 | イオンホテル(株) | 早稲田大学 |
| 4 | 本部長 | 伊豆島 知佳 | 42 | 国士舘大学 | 国士舘大学 |
| 5 | 本部長 | 浦谷 郁子 | 37 | 中央大学 | 東京女子体育大学 |
| 6 | 本部長 | 栗原 悠 | 36 | 町田RG | 東京女子体育大学 |
| 7 | 本部長 | 佐藤 なつみ | 34 | 成田RG | 南山大学 |
| 8 | 本部長 | 村山 麻理子 | 34 | | 早稲田大学 |
| 9 | 本部長 | 谷川 友佳子 | 30 | ソースネクスト株式会社 | 鹿野義塾大学 |
| 10 | 本部長 | 山本 桜 | 28 | OSK新体操クラブ | 香川大学 |
| 11 | 本部長 | 古井 里奈 | 25 | 名古屋女子大高校 | 国士舘大学 |

| | 担当 | 氏名 | 年齢(4/1) | 所属先 | 出身学校 |
|----|----|--------|---------|-----------------|----------|
| 12 | 部員 | 一瀬 留美子 | 57 | 新湊高校 | 東京女子体育大学 |
| 13 | 部員 | 牟田 樹 | 41 | PopCandy 新体操クラブ | 東京女子体育大学 |
| | 部員 | 名本 智子 | 40 | 済美高校 | 武庫川女子大学 |
| 14 | 部員 | 神野 未来 | 39 | 仙台大学 | 東京女子体育大学 |
| 15 | 部員 | 積光 千里 | 36 | アリス RG | 武庫川女子大学 |
| 16 | 部員 | 松本 萌 | 33 | 軽井沢高校 | 日本女子体育大学 |
| 17 | 部員 | 一文字 舞 | 33 | 札幌 MEG.RG クラブ | 日本女子体育大学 |
| 18 | 部員 | 中津 裕美 | 32 | エンジェル香川日中 | 東京女子体育大学 |
| 19 | 部員 | 菅 歩 | 31 | なし | 日本女子体育大学 |
| 20 | 部員 | 菅 真彩 | 28 | 日本体育大学 | 日本体育大学 |
| 21 | 部員 | 早川 さくら | 26 | イオンリテール(株) | 日本女子体育大学 |

<選出理由>

- ・現審判本部員・部員で、国内審判業務に精通し、指導的役割を果たすことができる人物を本部員・部員に選出。
- ・国内審判資格1種におけるカテゴリー試験上位者から新規本部員と部員を選出。
- ・国際審判資格保持者及び今後国際審判資格を取得する可能性のある人物を選出。
- ・年齢のバランスと所属、出身大学、地域のバランスを考慮して選出。
- ・日本体操協会審判委員会審判本部活動を支えていける可能性のある審判技術と人間力を有すると評価できる人物を選出。

(公財)日本体操協会 2023-2024年度トランポリン審判本部員候補者名簿

| | 担当 | 氏名 | 年齢(4/1) | 所属先 | 出身学校 |
|---|------|----------|---------|-------------------------|-------|
| 1 | 本部長 | 佐久間 洋 | 49 | キーサイト・テクノロジー株式会社 | 早稲田大 |
| 2 | 副本部長 | 福井 直哉 | 60 | インプレッション株式会社 | 大阪体育大 |
| 3 | 副本部長 | 神山 和仁 | 52 | 北海道北見支援学校 | 日本体育大 |
| 4 | 副本部長 | 平松 朋法 | 46 | MUSASHI TRAMPOLINE CLUB | 文教大 |
| 5 | 本部員 | 黒崎 実 | 62 | 富木医療器株式会社 | 大阪商業大 |
| 6 | 本部員 | 小澤 麻衣 | 38 | わたしの整骨院 | 学習院大 |
| 7 | 部員 | 黒田 渉 | 46 | 丸玉木材株式会社 | 北見工業大 |
| 8 | 部員 | 大谷 宏美 | 42 | 主婦 | 龍谷大学 |
| 9 | 部員 | 池田 成諒(新) | 36 | たにぐちりょうへい トランポリンクラブ | 小林西高校 |

<選出方法>

No.2~8 のメンバーは、2021-2022 年度の活動実績をもとに、これからも継続して審判本部のメンバーとして活動していただきたく全員留任としました。

No.9 の池田はこれまで九州ブロック部員として活動していましたが、主要試合への高い参加率、国際審判の取得など、審判本部に高い貢献をして戴きましたので、今年度より部員として活動してもらいたく推薦致します。

審議事項 13 は承認・可決された。

審議事項 14 「2023-2024 年度 トランポリン委員会委員構成（案）」

／発表：山本専務理事（福井委員長の代理）

| 役職 | 名前 | 年齢 | 勤務先 | 出身大学 | 選考理由 |
|------|--------|----|----------------|---------|---------------------|
| 委員長 | 福井 卓也 | 53 | 金沢学院大学 | 日本体育大学 | 継続 普及・競技等トランポリンに精通 |
| 副委員長 | 館 順子 | 71 | — | 共立薬科大学 | 継続 普及指導員講習会の経験が豊富 |
| 副委員長 | 古 幸江 | 75 | — | 金城高校 | 継続 シヤトル競技の経験が豊富 |
| 委員 | 荒木真由美 | 60 | — | 金沢女子短期大 | 継続 バッジテスト開催に精通 |
| 委員 | 土井畑幸一郎 | 34 | 稲敷市役所(茨城県) | 筑波大学 | 継続 障がい者トランポリンに精通 |
| 委員 | 三宅 泉 | 64 | (株)大泉スワロー体育クラブ | 日本体育大学 | 継続 全日本ジュニア競技運営に精通 |
| 委員 | 後藤 雅美 | 49 | 名古屋市教育スポーツ協会 | 早稲田大学 | 継続 競技検定会の開催・運営に精通 |
| 委員 | 坂井恭仁子 | 54 | (株)ティーネットジャパン | 県立工業高校 | 継続 トランポリン委員会庶務業務に精通 |

審議事項 14 は承認・可決された。

審議事項 15 「規程改定の件」

／発表：総務委員会 遠藤委員長

新設

業務執行役員会議規程(第 3 回理事会/2022 年 12 月) ※新組織決定を受けての改定

改定

公認審判員認定規程(第 7 回常務理事会/2023 年 1 月) ※トランポリン公認審判員認定規程との統合ほか
登録規程(第 8 回常務理事会/2023 年 2 月) ※新組織決定を受けての改定

ソーシャルメディア運用管理規程(第 8 回常務理事会/2023 年 2 月) ※新組織決定を受けての改定

委員会運営規程(第 8 回常務理事会/2023 年 2 月) ※新組織決定を受けての改定

廃案

トランポリン公認審判員認定規程(第 7 回常務理事会/2023 年 1 月) ※公認審判員認定規程への統合による

審議事項 15 は承認・可決された。

審議事項 16 : 「事務局職員に関する各種規程改定について」

／発表：守永事務局長

1. 職員服務規程
2. 職員給与規程

改定理由(1・2 共通) :

月 60 時間超の時間外労働の割増賃金率の引き上げにともなう改正

休日・休暇の見直し（振替休日・代休・夏季休暇等）

曖昧な運用になっている項目の整理・基準設定（特別休暇の取得期限、定期支払い基準等）

3. 育児・介護休業等に関する規程

改定理由：

出生時育児休業(産後パパ育休) に関する項目の追加

育休制度の改変、文言修正

審議事項 16 は承認・可決された。

審議事項 17 : 「2023 年度事業計画および収支予算について」

／発表：守永事務局長

2-1 全体の収支状況 ※管理費配賦前 (単位:円)

| 区分 | 2023年度 予算案① | 2022年度 予算案② | 2021年度 予算 | 2021年度 実績 | ①/② | 増減(①-②) | 備考 |
|-------|----------------|----------------|---------------|---------------|------|--------------|----|
| 経常収益 | 1,318,308,635 | 1,405,619,970 | 3,098,266,370 | 3,449,480,890 | 94% | ▲ 87,311,335 | |
| 事業費 | 1,206,149,324 | 1,280,950,547 | 2,909,422,166 | 3,140,715,392 | 94% | ▲ 74,801,223 | |
| | 112,159,311 | 124,669,423 | 188,844,204 | 308,765,498 | | ▲ 12,510,112 | |
| 管理費 | 279,980,000 | 228,710,000 | 160,170,000 | 178,815,977 | 122% | 51,270,000 | |
| 経常増減額 | ▲ 167,820,689 | ▲ 104,040,577 | 28,674,204 | 129,949,521 | - | ▲ 63,780,112 | |

※2021年度決算特定費用準備資金計上予定分影響額:40M

収入減の要因：スポンサーの減収、補助金の減収、大会の観客減など

支出増の要因：物価上昇、ガバナンス業務の増加、スタッフの状況など

更にマイナス幅を縮める努力をしていく所存です。

会長：

2023 年度の説明がありました。2021 年度との比較になっておりますが 2021 年度は世界大会が開催されたために通常よりも多くの収入と費用が出ております。

本来であればこの時点でプラスマイナスゼロの予算を策定すべきであります。本件につきましては現状の燃油等の値上げによる光熱費の増大、航空運賃の大きな増加といった要素が大きく影響している。

一方でスポンサー収入につきましてもスポンサーがなかなか増加できなかったことに大きな責任を感じております。観客・会員の増員、費用の効率化をローリングで実施しながら最終的にマイナス幅を最小限にしていくのが会長としての責務だと思っております。費用は最小に収入はより大きくという活動を実施していく所存です。そのための新しい体制、仕組、仕入れに対しても公明最大に見積もりを取って競合入札し費用を削減していく努力を続けて行きます。

竹内：

会長からの補足説明がありましたが、このあと実施に向け努力していただける、予算の段階でマイナス回避できる方策をひきしめていただいて更に検討いただきたい。

審議事項 17 は承認・可決された。

つづきまして、報告事項に入りたいと存じます。

報告事項 1・2 …男子体操強化

／発表：水鳥強化本部長

- 1：「2023 ワールドカップ・コト布斯大会について」
- 2：「2023DTB チームカップ選手変更について」

報告事項 3・4 …女子体操強化

／発表：田中強化本部長

- 3：「WC 大会報告 コト布斯大会／ドーハ大会」
- 4：「第 52 回世界体操競技選手権大会の補欠について」

報告事項 5 …審判委員会

／発表：後藤委員長

- 5：「臨時託児施設開設」実施報告について」

報告事項 6 …事務局

／発表：守永事務局長

- 6：「大会設営業者」について

議長：ご質問等ありますでしょうか。

長谷川：報告事項 5 の託児所について、興味深いので詳細を伺いたい。

最終的に体操協会からどのくらいお金を出したのか？

後藤：4 日分、¥ 12,000-です。

長谷川：とっても安くできたんですね。

新体操でも取り入れたいという意見があるが、実際開設できていないので
教えていただきたい。

後藤：女子審判部員がこのような関連会社に勤めており、上手く利用出来た。

長谷川：ありがとうございました。

議長：メディアからも質問があったコロナ緩和によって大会運営がどのように変化するか？

山本専務より説明をお願いします。

山本：政府からの発表に従いまして、今までのガイドラインは撤廃せず、マスク着用は
お任せする。応援の声だけはマスクを推奨していただくという形をとっていければ。

議長：これをもちまして、2022 年度 第 4 回理事会を終了致します。

長時間に亘り、ご審議いただきまして誠に有難うございました。

以上、議長は、すべての議案の終了を確認し、1 8 時 2 6 分に閉会を宣言した。

2023年3月10日

議 長 藤 田 直 志

議事録署名人 遠 藤 幸 一

後 藤 洋 一

出 席 監 事 高 橋 史 安

小 河 原 慶 太